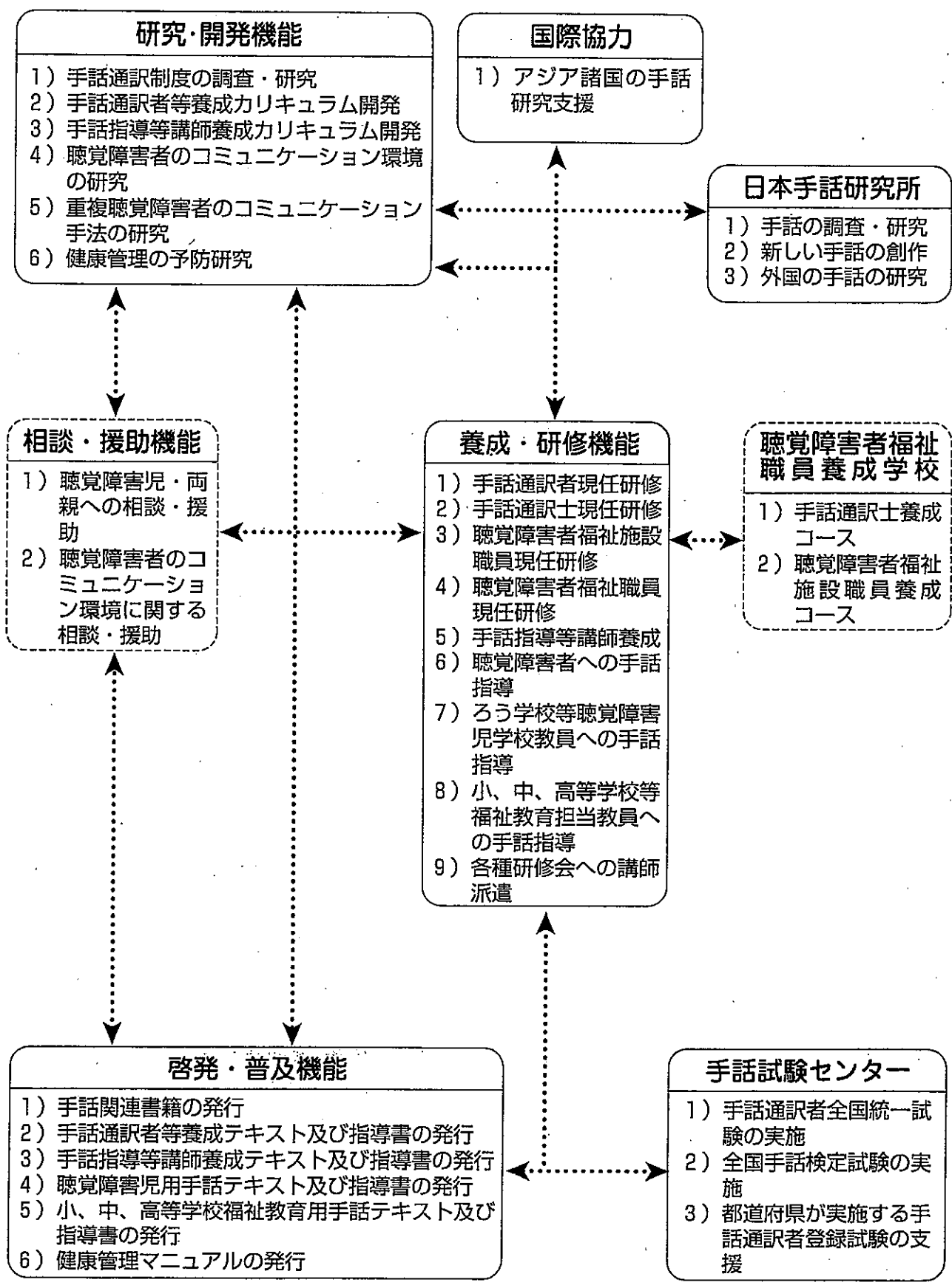


# 社会福祉法人 全国手話研修センター 機能構想図



## 社会福祉法人全国手話研修センター後援会

社会福祉法人全国手話研修センター後援会（以下、後援会）は、同センターを言語としての手話の存在意義を高める拠点として、さらにその機能および同研修センターの事業を拡大発展させていくために物心両面の支援をおこなうことを目的に、財団法人全日本ろうあ連盟、一般社団法人全国手話通訳問題研究会、一般社団法人日本手話通訳士協会により、2012年10月7日に発足します。

以下、後援会の2012年度事業計画（案）、後援会役員（案）、予算（案）を提案します。

### 1. 2012年度事業計画（案）

- 会員拡大（ブロックごとに会員目標を設定する）
- 幹事会の開催
- 運営委員会の開催
- ブロック学習会の開催
- 後援会リーフレットの作成
- 会報発行（1回）

### 2. 役員（案）

会長：清田 廣

副会長：山本おさむ、小椋英子、長谷川芳弘

事務局長：梅本悦子

会計：長谷川芳弘

幹事：若干名

監査：石橋大吾、木下 博

### 3. 2012年度予算（案） (2012年10月7日～2013年3月31日)

収入

科目	金額	備考
会費	10,000,000	@1,000×10,000口
雑収入	10,000	
合計	10,010,000	

支出

科目	金額	備考
人件費	500,000	@5,950×60日 交通費、労災保険ほか
会議費	2,000,000	3役会議、運営委員会、監事会
活動費	1,000,000	全国9カ所の学習会
会報発行費	2,500,000	パンフ印刷費1,000,000円、会報印刷費500,000円、郵送料800,000円ほか
需用費	1,000,000	パソコンその他事務用品
予備費	3,010,000	
合計	10,010,000	

\*後援会設立準備として、全日本ろうあ連盟及び全国手話通訳問題研究会から各100万円を仮り受け、年度内に返金するものとする。